

田村市指定有形文化財

さ く ま よう けん しょ さい
佐 久 間 庸 軒 書 齋



幕末から明治にかけて活躍した最上流和算家 佐久間庸軒の書齋です。

もともとは、庸軒の父 佐久間質（朴齋）が天保2（1831）年に和算の稽古所として建てた、9坪あまりの平屋の建物です。

質は最上流和算を、開祖である会田安明と二本松藩士 渡辺一に学び、質自身の門人も50余名を数えました。